地域とともに取り組む環境活動

高崎市立大類小学校

1　取り組みの概要

本校では、地域の方々と一体となって環境教育を進めています。主な活動としては、「親子孫三代除草作業」、「プランターへの花植え」があります。さらに「エコキャップ運動」にも取り組んでいます。

2　令和７年度の活動内容

(1)　親子孫三代除草作業　―親子孫・地域の方々と力を合わせて―

「自分たちが学ぶ場所を自分たちできれいにしよう」、「子ども（孫）たちが気持ちよく勉強できるようにしよう」、「地域の子どもたちの通う学校をきれいにしよう」との思いで、毎年８月下旬に、親子孫三代除草作業が行われています。

除草作業の様子

今年度は天候に恵まれ、予定通り校庭の整備や通学路の草刈りなどの作業を協力して行うことができました。地域の皆様の協力のもと、きれいな環境の中で気持ちよく新学期をスタートすることができました。

(2) エコキャップ活動　―家庭と協力して集めよう―

本校では、２０１１年度から「エコキャップ運動」に取り組んでいます。東西それぞれの児童用玄関に１カ所ずつ計２台の回収ボックスを設置し、環境委員が中心となり、委員会の時間にペットボトルキャップを集めています。

身近にあるペットボトルキャップが病気の子どもを救うワクチンに姿を変えるという活動を通して、子どもたちはエコへの意識を高めることができると同時に、命の大切さをも学ぶことができます。子どもたちは、「一人でも多くの命を救おう」という気持ちをもって、自ら進んで家庭に呼びかけています。家庭の協力のもと毎回たくさんのペットボトルキャップが集まっています。今年度は約２２kg集まりました。

来年度も、「みんなで地球と子どもを救おう」というスローガンのもと、この活動を継続していきたいと思っています。

エコキャップ感謝状

エコキャップ回収の様子

（3）プランターへの花植え　―PTA 環境委員会の方々との協力―

毎年、年末にＰＴＡ環境委員の方々がプランターに花を植えにきてくださいます。パンジーやビオラ、ノースポールなどの苗をプランターに植え込み、３月までの間、花の世話は環境委員の児童が行います。

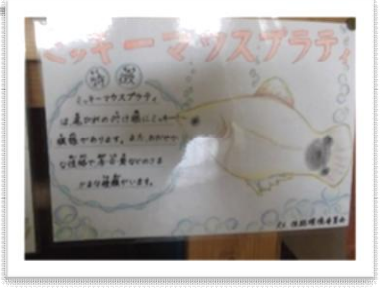
この活動により、花壇に花が少ない季節でも児童用玄関は花であふれています。そして、卒業式には、この花たちが卒業する６年生の花道をきれいに飾ってくれます。

（4）児童環境委員会の活動　―環境を整えて気持ちよく―

環境委員会の主な活動は、花の苗植えや水やり、グッピーなどの飼育、ポスターの掲示、節電・節水の呼びかけなどです。自分たちの学校の環境を整え、全校児童が気持ちよく過ごせるよう、当番を決め、休み時間を利用して活動しています。

節電の呼びかけ

ポスター掲示



3　取り組みの見直し及び今後の活動

今後も、学校・家庭・地域が一体となっての活動を継続していきたいです。また、各教科や総合的な学習の時間などと関連させたり、委員会活動を通して大人になってからも環境問題に対し自律的に考えて活動を続けていけるよう取り組みを工夫したりするなど、より横断的・継続的な活動ができるようにしていきたいと考えています。